

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>現在の理念の中には地域のことまではもりこんでいない</p> <p>○</p>	<p>理念の中にある「共に」という部分を地域の中でもという意味に捉え取り組んでいきたい</p>
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>職員全体で関わりについて話し合う機会があり、理念を再認識し更に、共有することができた。</p>	
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる</p>	<p>理解してもらえるような特別な取り組みはしていない</p> <p>○</p>	<p>法人全体の広報誌ではなく、ホーム独自の広報誌を作成したいと考えており、その中で理念もとりあげたい</p>
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りしてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>外で会ったときには声をかけてくれるように少しずつなっている。そして私達も声をかけたり、挨拶はかかさずしている。</p>	
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>町民運動会に参加。遠野市の秋祭りの自治会の踊りの練習会場として駐車場を使用していただき、見学したりしている。しかし、まだまだ、地域行事に参加することが少ない。</p> <p>○</p>	<p>地域の行事を知ることから始め、参加する機会をふやしていきたい</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	特に取り組んでいることはない		どのように取り組んでいけばよいのか実際、分からない
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価し、外部評価を受けることで、不足している部分、逆に自分たちの出来ている部分にもきずき、見直しや更なるやる気にもつなげていける。	○	評価後も同じ気持ちのまま改善につなげていきたい
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議の中でいただいた意見を元に、民生委員の集まりに参加したり、不足している部分の改善に少しずつつなげている。	○	地域の中に入っていくにはどうしたらよいか、会議をいかしていきたい
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	積極的な行き来はない		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	大事なことだということは理解はできているが、特に勉強会や話し合う機会はまだない。	○	この機会に勉強会をもうけたい。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会はしていないが、権利擁護よりは、世間でとりあげていることが多いので、情報は権利擁護よりはる。	○	同上で勉強会をもうけたい

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>重要事項説明書を持ち説明をしている。その際、何か、聞きたいことはないか確認している。</p>	
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>特に機会はまだもうけていないが、会話の中から聞くようにしている。</p>	<p>○</p> <p>あらかじめ利きたいことを考えておき、日常のお茶の時間の中で、入居者様に聞いてみたい。</p>
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月請求書と一緒に手紙を出して、その中で様子を報告している。緊急なことは電話報告している。</p>	
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>話せる機会はまだもうけていない</p>	<p>○</p> <p>アンケートを作成しご家族様より意見を聞くことはしている。今後行事等で家族が集まる機会をもうけて聞いていきたい。</p>
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>職員会議の中で話し合ったりきずいた都度話してもらっている。</p>	
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>状況変化があり、早出勤をもうけた。</p>	<p>○</p> <p>今後、状況にあわせて話し合い変更が必要であればかえていきたい</p>
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>平成16年に開設してから職員の交代はなく定期的な異動も考えていない。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修計画はたてていない。事業所内での勉強会をしたり、研修案内がきたものについては、職員の経験に応じて研修をうけている。</p>	<p>○</p> <p>事業所内での勉強会は続けていきたい。</p>
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>遠野市内やグループホーム協会の交換研修に参加、市内グループホーム職員同士の交流会もしている。</p>	<p>○</p> <p>入居者様も含め、グループホーム同士の行き来を計画したい。</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>同じ法人の老健の事務長との面談をもうけ、話を聞いてもらったりでき、改善できるところはしていただいている。</p>	<p>○</p> <p>年1回は面談の機会ほしい。続けていきたい。</p>
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>職員の資格取得に向けた支援を行い、そして、本人の意向を重視しながら活かせる環境作りをしている。</p>	
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>本人から相談があったことは今までには例がない。実態調査に行き面談した時に、ご本人からお話を聞いている。</p>	
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>相談の際、又は、ホームの状況を聞きたいという時にはゆっくりと話を聞き、不安にならないよう受け答えするよう努めている。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	自分達の所が、満床状態であり、希望にそえない時は他ホームの情報を話したりしている。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居の際強く拒否していたが、顔なじみの入居者の方がいることで話しをし、徐々にうちとけている。入居前に見学にきたりもしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	一緒に家事をしたり、郷土食の作り方を聞いたり楽しんでい。そして、ありがとうと感謝の気持ちを伝え、喜びを共有し、関係作りをしている。	○	感謝の気持ちを忘れずに続けて行きたい。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	毎月出しているお手紙を見て様子を知ることができ良いと話されるご家族もあり、伝えることは大事にしている。その手紙の内容が話しのきっかけとなり情報交換もできている。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ご家族様との行事のなかで共に過ごす時間を大事にしている。しかし、家族参加の行事が少ない。	○	行事についてのアンケートを作成しており、来年度に活かしていきたい。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人の希望に沿って、昔行っていたお店に行き、昔馴染みの方とお話したりしている。	○	希望時のみではなく、会話の中で話して場所や人に会えるように考えたい。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	それぞれの人間関係の把握に努め、トラブルにならないようにしている。入居者様同士、誘いあってもらえるよう、声かけしている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	今までは関わりを必要とするようなケースがなかった。	○	今後そのようなケースがあれば関わることはしていきたいと思う。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	希望や意見があったことについて対応しているが、本人視点に立って理解しようとしているが、十分に出来ていない。	○	本人視点に立てるアセスメントシートの活用(センター方式)
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居当所に聞き取りをし、記録はしているが、それ以降は聞いたとしても記録は残せていない。	○	記録方法を考えていきたい。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	1日の過ごし方は把握は出来ていると思う。心身の状態の変化も職員同士で話し、必要があれば、受診している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	全員で話しあうことがまず出来ていない。	○	本人と話しあうことをしたい。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	職員間で話しあうことはしているが、本人、家族等と話しあうことが出来ていない。期間での見直しも出来ていない。	○	職員だけではなく、本人、家族から情報を聞き取り入れるようにしたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人個人の毎日の記録は細かく記入している。食事面では検食簿に気づいたことを記入している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族の方が都合が悪い時には市外の受診対応もしている。また、入居者様の希望でお彼岸にお墓参りに行っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	近くの保育園に招待されて、運動会を見学したりしている。本人希望で近所の理髪店へ毎月行っている方もいる。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	例がなく、支援したことはない。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に来ていただいているが、権利擁護等について話し合ったりしたことはない。	○	ホーム内での勉強会の中で権利擁護について知りたいと思っているので、そのような機会に声をかけてみたい。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所以前のかかりつけ医を聞くようにしており、どの医療機関がよいか確認している。		

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>1人の入居者様に関しては、精神科に通院しており、主治医と相談しながら、精神薬を減らしている段階である。しかし、市内のドクターとは認知症について相談できる関係作りが出来ていない。</p>	○	<p>市内の認知症が詳しいドクターと相談できる関係作りをしていきたい。</p>
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>同じ法人の老健の看護師に相談することはある。</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>短期間入院した入居者様については、日中点滴の間、付き添いを行った。また、他の入居者様が入院した時には主治医に様子を聞いたり、退院はいつごろになるのか確認していた。</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>ターミナルケアが必要な場合は実施したいと思っはいるが、現段階で、間もなく対象になるという方がいないこともあり、方針を話しあうまで、出来ていない。</p>	○	<p>今後、どうすべきなのか話し合う機会をもちたい。</p>
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>同上で検討や準備は出来ていない。</p>		
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>別のホームに移る方が1名いたが遠方だった為、電話でのやりとりにて情報をお話している。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	記録は見えないところに保管している。その方その方に合わせた言葉かけをし、プライバシーには気をつけている。特に、トイレ誘導の際、声がけに注意している。	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	広告を見て、食べたいものを話したり、季節感も感じている。また、日付と一緒に確認したりし、例えば、今日から彼岸の入りという話題を話し、そのことで、お墓参りに行かないといけないと思い、そして、希望があれば、一緒にでかしている。	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事の時間やお風呂の時間は決まっているがその中で朝起きたくないと遅れて食べる方や好きな時間でお部屋で休んでいる。しかし、全員が1人1人のペースとは言えない。	○ 希望を言える方は良いが、自分の意見をあまり言わない方の話を聞くようにしたい。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	理美容店は入居者様、ご家族の希望に合わせている。身だしなみについては、口紅を持っている方は出かける時につけたり、職員側の方で聞き、化粧する方もいる。	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一緒に準備や片付けをしている。献立については日常のものは、決めているが、週1回の夕のおまかせメニューの時には買物に行った入居者様の好きな食事にしたり、広告を見たり、会話の中で希望が聞けた時には、臨機応変に献立を変更している。	○ 実際にお店に行かない人でも広告を見たりすることで、希望を話したり、楽しんでいる。出来るだけ皆さんの意見を活かした食事内容としたい。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのお酒、飲み物、おやつ、たばこ等を一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	お酒を夜お部屋で飲む方がいたり、買物に行った際、好きなものを購入している。	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	夜間ほぼ毎日、失禁がある方にオムツ使用はせずに、パターンの把握やトイレ誘導できる工夫に努めている。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日午後に入浴を行っている。毎日入りたい方、始めのほうに入りたい方の希望には出来るだけ合わせるようにしている。また、入浴拒否が多くみられる方については、タイミングを大事にしている。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	昼食後、休んでいる方もいるので静かに過ごしている。夜もそれぞれ寝る時間も違い眠れない方とは会話したり、ホットミルクを提供している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	大工が仕事だった方に包丁とぎをしてもらったり、字の上手な方に格言を書いていただき壁掛けにしている。他、ごみ捨てへ行き散歩をし、気晴らしをしたりしている。又、外出する機会を作っている。		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を持っている方はご家族の希望もあり、自己管理している。買物や床屋には自分で支払いをしていただき、支払いの時には、傍を離れず、時には、誘導している。	○	金銭管理について現在見直しをしている。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気が良いから外へ行きたい、散歩、買物に行きたいという希望にはできるだけ対応している。お墓参りやその為のお花を買うお店も馴染みのお店へ行っている。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	温泉に行き、ゆっくりしたり、日帰り旅行で懐かしい場所(釜石)に行っている。	○	釜石の入居者様については、ご家族の了解も得ており、自宅へ出かけたいと考えている。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話は使用希望時にボタンを押したり、時には、電話のつなぎ役もしている。手紙を書きたいと便箋、封筒を購入された方もあるが、1度出したきりである。	○	年賀状を昨年1度ご家族に出しており、今後も続けたい。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	訪問する頻度は少ないが、家族の方が部屋で横になって休んでいたりする姿や、今度は犬も連れてくるからと声をかけられるのを聞いたりすると、居心地良く過ごされているように思える。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	正しく理解できているかは、不確かだが、身体拘束はしないケアをしている。	○	職員間で身体拘束について話す機会を持ちたい。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関にセンサーを設置、音がなったら確認している。又、入居者様の居室の戸も入居者様が中から鍵をかけているが、職員がかけることはない。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	昼夜共に、入居者様の居場所は確認している。特に鍵をかけていない日中は職員で確認しあっている。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	縫い物をしていただく時は傍を離れないようにし、返していただき確認している。果物ナイフを自己管理している方もいる。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ヒヤリハットを活用し、申し送りも行っている。一人一人の状態把握に努め、その方に合った行動を考えている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	救急講習を受講している。又、グループホーム協会のブロック定例会の中でも実施してもらっている。	○	同法人の老健の師長に吸引器の指導を受けたいと考えている。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	事業所として火災訓練は実施しているが、地震等の災害時の訓練は出来ていない。昨年は避難訓練を運営推進会議を利用し見学していただいたことはあるが、地域の方々の協力体制作りはできていない。	○	どのように体制作りおしていけばよいのか実際、分からないので運営推進会議等を利用し情報収集していきたい。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	手紙を通して伝えたり面会時に様子を話している。しかし、そのことについて話合う機会はまだない。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎朝のバイタル確認、入浴時の身体確認をし日常の様子変化に注意し職員間で共有し様子観察している。そして必要な時には、ご家族へ連絡し、受診している。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の説明書を確認しながら支援している。また、受診時のドクターや薬剤師のコメントも受診ノートに記入している。また、新しい薬の内服時には、更に状態観察している。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	普段より機嫌が悪かったり、落ち着きのないような時には、便秘になっていることもあり、下剤がある方には内服していただいたり、水分を多く摂っていただいている。また、乳製品を毎日取り入れている。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	促しが必要な方は、無理強いにしないよう声がけしている。	○	出来る方にはまかせているが、荒い残しもあり汚れも目立ってきているので、1日に1回でも支援しようと検討中。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	定期的に同法人の老健の管理栄養士にチェックしてもらい、改善している。又、食中毒について勉強会もしてもらっている。水分も1日を通して摂取できているか、確認できるように記入している。		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	手洗い、うがいの実施。ノロウイルス対策として、処理セットを準備し、又、予防にも努めている。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	台所内(冷蔵庫、用具等)の掃除の徹底。食中毒の勉強会で生物の保存方法も聞き、改善している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関の位置が分かりづらいが、畑が隣りということでそこで挨拶や会話をしたりと考えている。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	トイレや汚物室に消臭剤を置いて臭いの配慮をしている。季節の花を置いたり、時期によって棚の置物を変えている。又、廊下端の窓より外の畑を見て皆さん季節感を感じている。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	トイレや居室前ベンチで休んでいたりする。畳の所に座って話しをしたりもしている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	開設当初に入居されている方は、配慮不足で馴染みの物を持ってきていただくことが少なかったが最近入居された方は、入居時に話しをし、使いなれたイスやテーブルを準備していただいている。	○	今後、機会があれば必要な物でなじみの物を準備していただけるよう話していきたい。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	掃除の時には窓を開け、換気している。共用空間には湿度、温度計を置いている。又、入居者様に聞きながら、冷暖房の調節もしている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	部屋の前にトイレがあり、4箇所あるので使いやすいと思われる。手すりも利用し歩いている入居者様もいる。又、台所カウンターも入居者様の活躍の場となっている。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	失認、失行がある方には、本人が分かりやすいように援助している。そのことで、全介助ではなく、自分でできることにながっている。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	近所の保育園の子供たちが来た時にベランダに出たり、行事の時に使用している。又、畑を作り、育つ様子や、収穫を楽しんでいる。駐車場内でも遊んだり、テントを建てて外で食事している。		

V. サービスの成果に関する項目			
項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
			②少しずつ増えている
		○	③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
		○	③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
		○	③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

入居者様と共に楽しい時間を過ごせるように、そして笑って過ごせるように支えあい、支えられながら過ごすことを大事に、チームとして取り組んでいる。